

男女が共に支え助け合う  
避難所生活での工夫と  
日頃の備え

# 男女双方の視点からの防災対策



## 男女双方の視点からチェックしよう

阪神・淡路大震災や東日本大震災などのこれまでの災害では、避難所でのプライバシーの確保や女性に対する配慮などについて、様々な問題が指摘されました。

このリーフレットは、これらの災害の経験や教訓を次の備えに活かすため、男女双方の視点から安全・安心・快適に過ごせる避難所づくりや運営のポイント、日頃の備えなどについてまとめたものです。

# 安全・安心・快適な避難所づくり

## ～避難者のプライバシーに配慮～

避難所生活において、一人ひとりの人間の尊厳、安全を守ることは重要です。避難者のプライバシーや性別に配慮して、避難所生活における環境を整備することが必要となります。

□ 単身女性や女性だけの世帯、高齢者、障害者、乳幼児など避難者の状況に応じて、**エリアの設定**や**パーティション**等の活用など、**プライバシーに配慮**した安全・安心な居住スペースを確保する。

□ 共有スペースについては、性別に配慮し、**トイレ**や**更衣室**、**物干し場**、**休憩スペース**を**男女別に確保**する。

女性用トイレは、男性用に比べて混みやすいことから、数を多めに設定することが望ましい。

生理用品や下着等の女性用品は、女性の担当者から配布したり、女性用スペースやトイレに常備するなど、**配布方法を工夫**する。

□ 乳幼児がいる家族のために、**授乳スペース**、**育児スペース**を設置する。

妊産婦や乳幼児の健康に配慮し、衛生的な環境を確保する。

□ 女性や子どもに対する暴力等を防止するため、トイレ、更衣室、入浴設備等の専用スペースの設置には、昼夜を問わず、**安心して使用できる場所や通路を確保**する。

**巡回警備**や敷地内の死角や暗い場所に**照明の設置**などを行い、安全・安心の確保に配慮する。

□ 避難者が抱える不安・ストレス・暴力に対する相談や、精神面のサポートなどを行う**各種相談窓口を設置**し、**周知**を行う。

同性でない人と相談しにくい悩みもあることから、男女両方の相談員を配置する。



# 性別に偏らない避難所運営

## ～男女共同参画の視点から～



避難所運営委員会には、男女両方が参画し、双方の意見が取り入れられる環境をつくるのが大事です。

避難所の食事づくりなどが女性に偏るなど、性別や年齢等により役割を固定化することなく、共同して作業を行うようにしましょう。

□避難所運営委員会に、**男女双方が参画**するようにする。

□避難者による食事づくり、片付け、清掃等の役割分担について、性別等によって役割を固定することなく、出来る人が担当し、**避難者同士の協力体制**をつくる。

男女が協力して共同で行うとよい作業(参考例)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 食事づくり、片付け     | 4 ゴミの処理       |
| 2 物資の配布         | 5 防犯対策(見回り)   |
| 3 共有スペースやトイレの清掃 | 6 イベントの企画及び開催 |

□避難者の**ニーズを把握**できるように、**アンケート調査**や**意見箱の設置**等を行い、生活者の意見を幅広く積極的に聞く。

□きめ細やかな支援に活用できる**避難者名簿の作成**及び**情報管理を徹底**する。  
(氏名、性別 ※1、年齢、支援の必要性、外部からの問合せに対する情報の開示・非開示の可否 ※2、等)

※1 性的マイノリティ等に配慮し、自由記述欄とする方法もある。

※2 配偶者からの暴力・ストーカー行為の被害者が、加害者に居所等を知られることのないよう注意する。

□すべての人に、情報が正確にわかりやすく伝わるように、**伝達方法を工夫**する。特に、視覚・聴覚障害者や要介護高齢者、外国人等に配慮する。

□日頃から培ってきた地域の人的ネットワークやご近所つきあいなどの**地域コミュニティを活用**して、避難者の安否確認や避難所での声かけを行う。

□イベントの開催や、誰もが利用できるフリースペースを確保し、**心身の17レッシュ**や**ストレス解消**を図る。

# 女性の参画を促進し、 自主防災活動を活性化しましょう

災害時においても、男女が共同で対応できるよう、常日頃から、家庭や地域、職場などで男女共同参画を実現し、男女が共に支え合う地域づくりに努めましょう。子育て家庭、高齢者、障害者等、様々な生活者の視点を反映させるためにも、女性の参画を推進することが大切です。自主防災訓練の企画段階や運営へ女性の参画を進めるとともに、女性リーダーの育成を図りましょう。

女性が活動に参画することにより、男女の偏りのない防災対策を行うことができ、地域防災力の強化が図られます。

## 備蓄品チェックリスト

各家庭で7日分程度の備蓄を

### 女性や子どもに必要な備蓄品目(参考例)

#### 生理用品

- 生理用ナプキン  
(長時間用もあるとよい)
- サニタリーショーツ
- 清浄綿
- おりものシート
- 中身の見えないごみ袋

#### 離乳食用品

- ベビーフード  
(アレルギー対応食を含む)
- スプーン

#### その他

- 抱っこ紐
- 授乳用ポンチョ
- 下着
- 防犯ブザー

#### 紙おむつ用品

- 小児用紙おむつ
- おしりふき
- ごみ袋
- 乳幼児用着替え
- ベビーバス

#### 授乳用品

- 粉ミルク(調整粉乳)
- アレルギー用ミルク
- 乳幼児用飲料水
- 哺乳瓶
- 湯沸かし器具



### <参考> 災害時のLGBT(性的少数者)の困難

#### ●困りごと

- \* 誰にも話せないつらさ、話すことへの不安
- \* 周囲の理解不足、根強い偏見
- \* 更衣室、共同浴場、トイレなど
- \* 物資について周囲の認識と当事者の欲するものが一致しない場合、受け取ることが難しい(下着や衣類、化粧品など)

#### ●必要とする支援・配慮

- \* 多目的トイレ(着替えや体の清拭などのスペースになる)
- \* 相談や支援を実施する際はプライバシーに配慮する
- \* 当事者や支援者が安心して集まれる場所



文中で使用しているキャラクター(くらわんこ・ひらにゃんこ)の著作権・商標登録につきましては、枚方文化観光協会が所有しています。掲載されている画像の二次使用や無断での転載は、固く禁止されています。

平成27年12月発行

発行者/枚方市危機管理部

危機管理対策推進課

Tel.072-841-1221(代表)

072-841-1270(直通)

〒573-8666

枚方市大垣内町2-1-20